

道づくりだより

第67号 2013.9 島根県道づくり調整会議



祝！西岩坂農道全線開通！！

-Contents-

1. (主) 松江鹿島美保閑線 野井トンネルが貫通しました (道路建設課)
2. 松江北道路に関するアンケート調査を実施します (高速道路推進課)
3. 道路愛護等に務めた方々が表彰されました (道路維持課)
4. 都市計画道路「北荒木赤塚線」の開通について (出雲市まちづくり推進課)
5. 西岩坂農道が全線開通しました！！
～農産物輸送の合理化・地域の発展に期待～ (農地整備課)
6. 県内3空港で空の日イベントが開催されました！ (港湾空港課)

(主)松江鹿島美保関線 野井トンネルが貫通しました

貫通式典

平成25年5月から掘削を開始した(主)松江鹿島美保関線野井トンネルが貫通し、8月29日に貫通式が開催されました。式典では、地元関係者、県市議会、行政関係者、施工業者約40名の出席のもと、最終発破後に通り初めを行い、貫通を祝いました。

【貫通式の状況】



工事概要

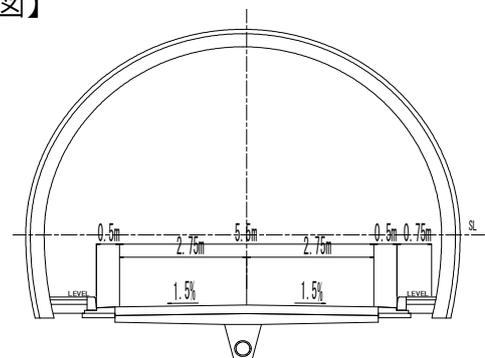
【航空写真】



【概要】

- ・工事延長: 94m (うちトンネル延長: 94m)
- ・内空断面: 45.116m²
- ・幅員: 8.0m
(0.75+0.5+2.75+2.75+0.5+0.75)
- ・掘削方法: NATM(発破掘削)

【断面図】



野井トンネルは島根半島沿岸部における県道の線形不良を解消するものです。今後は、平成25年度末の完成供用に向け、引き続きトンネル照明、舗装等の工事を実施していきます。

松江北道路に関する アンケート調査を実施します

松江北道路は、境港出雲道路の一部として、また、松江だんだん道路とともに松江市の外環状道路の一部として、山陰道へのアクセス性向上に伴う物流の効率化、市内へ流入する交通の分散化に伴う渋滞の緩和等により、地域の発展に貢献することを目的とした道路です。

松江北道路の概略計画の検討にあたっては、よりよい計画とするため、地域や道路利用者の方々に広く情報を提供した上で意見を頂きながら検討を進めています。

平成25年9月10日(火)～19日(木)にかけて、6会場で第2回意見交換会を開催して500m程度の幅を持った3つのルート帯を提示し、「交通」、「土地利用」、「事業性」の各分野から評価を行い、参加者のみなさまから意見を頂きました。

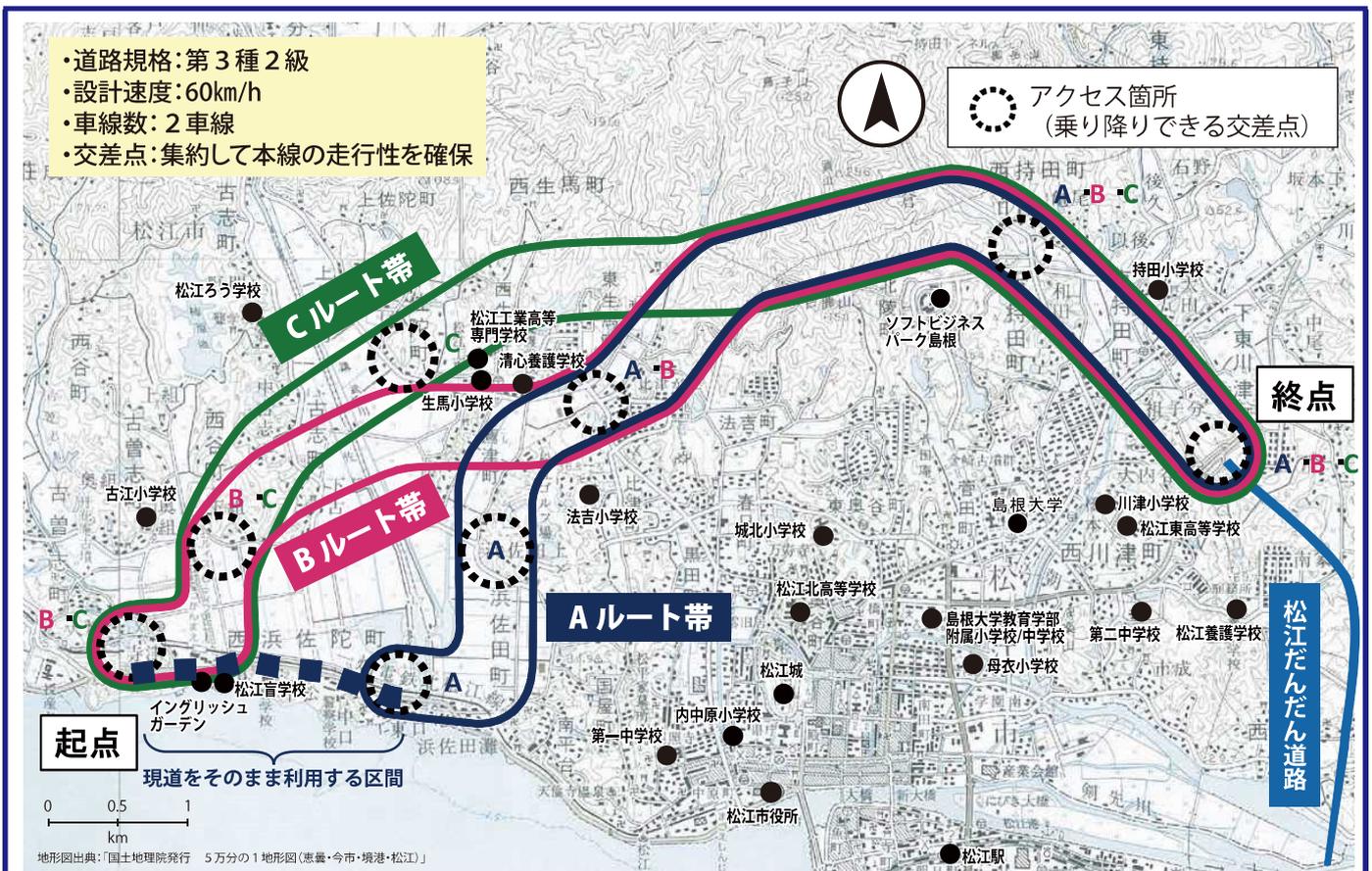
この度、さらにより多くの方々の意見を計画に反映させるため、アンケート調査を実施します。アンケート用紙は松江市北部地域の各家庭に配布しているほか、島根県庁・松江市役所・松江市内の各公民館にも置いています。また、下記のホームページからも回答することができます。

みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

ホームページアドレス：

<http://www.pref.shimane.lg.jp/kosokudoro/matsuekita.html>

アンケート期間：平成25年10月1日(火)～平成25年10月15日(火)



道路愛護等に努めた方々が表彰されました

8月30日、県庁知事室において、「道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が特に顕著な民間の団体又は個人に対する国土交通大臣表彰」の伝達式と「みんなで守り育てるしまねの道と川のア護活動表彰」の授与式が行われました。

～国土交通大臣表彰～

国土交通省では、8月の「道路ふれあい月間」中に「道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が特に顕著な民間の団体または個人に対する表彰」という名称の国土交通大臣表彰を行っています。島根県からは1団体1個人が表彰されました。



溝口善兵衛知事と記念撮影をされる代表者の方々。
左から：(株)ジェクト(2名)、知事、藤井恭雄氏、(株)ジェクト

◇受賞の皆様

株式会社 ジェクト（松江市）

『道行く人たちの心を和ませたい』との思いから、道路脇の空き地を花壇として整備し、花の苗を定期的に植え替えています。また草取りや空き缶拾いも実施するなど、常に緑あふれる歩道となるよう熱心に取り組んでおられます。

- 構成員員：25人
- 作業延長：1.2 km
- 年間作業日数：6日
- 従事年数：11年
- 作業路線：一般国道 431号



藤井 恭雄 氏（益田市）

『ボランティアは無償で行う』という信念で、ご高齢にもかかわらず一人で年に数回の除草作業を行い、交通安全に大きく寄与されています。また、除草以外にも空き缶拾いを行い、地域の環境美化にも大きく貢献されています。

- 構成人員：1人
- 作業延長：1.6km
- 年間作業日数：20日
- 従事年数：13年
- 作業路線：一般県道 益田澄川線



～島根県知事表彰～

島根県では、「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動表彰」という知事表彰を行っています。道路部門では、長年の功績を称えられた8団体が表彰されました。

◇受賞の皆様

●大芦道路愛護クラブ（松江市）

清掃・草刈を年3回、花壇の整備を年4回程度継続的に実施し、地域の美化に貢献しています。

●大馬木本郷自治会（奥出雲町）

吾妻山へ訪れる多くの方々のために、年4回程度清掃・草刈を実施。町教育委員会や愛護団体と協力し、約6kmに及ぶ道のりの美化活動を行っています。

●佐津目振興協議会（出雲市）

年3回程度県道等の清掃・草刈を行っています。チラシ等を配布し、地区民総出で活動しています。



左から：大馬木本郷自治会(2名)、知事
大芦道路愛護クラブ、佐津目振興協議会

●原田振興協議会（出雲市）

清掃・草刈の他に、支障木の伐採も積極的に行っています。また、高齢者の参加にも配慮しながら、全世帯が取り組みに参加するようにしています。

●美郷町立大和中学校（美郷町）

毎年5月と10月に植栽、カーブミラー・標識磨き、ゴミ拾い、草抜き等の美化活動を実施しています。この活動を通じて、郷土を愛し社会に貢献できる生徒の育成にもつながっています。

●鎌手停車場線愛護会（益田市）

地域の道路は地域で守るという信念で、草刈のみならずゴミ拾い・雑木伐採・側溝清掃・路肩土砂除去と、幅広く活動し道路愛護に貢献しています。

●向横田自治会（益田市）

年2回草刈・カーブミラー清掃等を行い、長年にわたり地域に貢献しています。（授与式欠席）

●今津区（隠岐の島町）

地元道路の美化と整備のために、年9日程度草刈・植栽を行っています。地区内の全戸が参加できるよう、声をかけ合って取り組んでいます。（授与式欠席）



左から：鎌手停車場線愛護会、原田振興協議会知事、美郷町立大和中学校(2名)

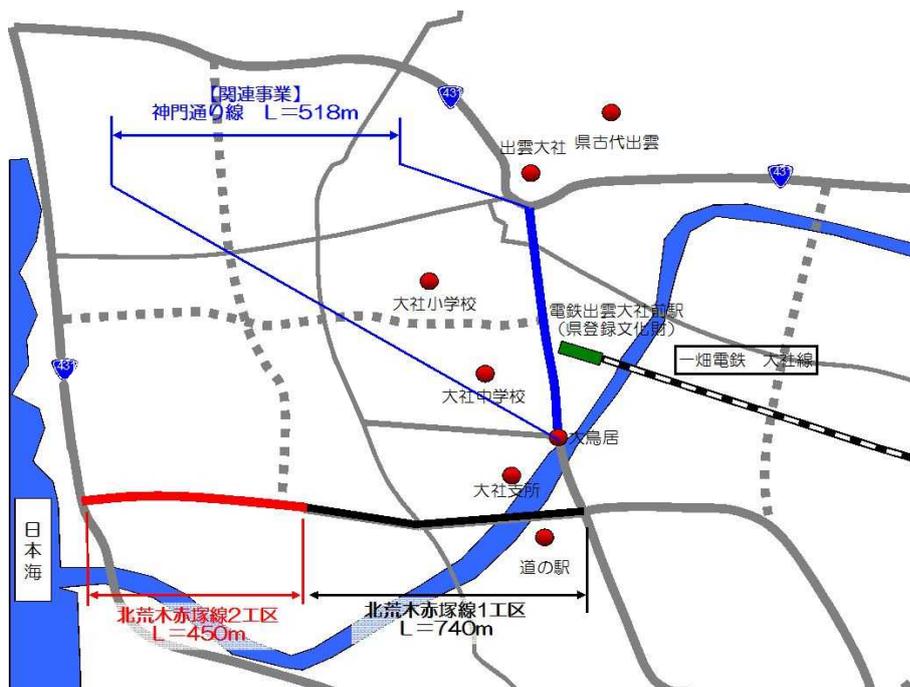
都市計画道路「北荒木赤塚線」の開通について

この路線は、大社地区の南部を東西に結ぶ重要な役割を持つ道路です。平成11年に歴史の道づくり計画を策定し、杵築地区内に集中する交通量を分散するために環状迂回型道路ネットワークを整備する目的で全体整備区間1,190mのうち第1工区740mが平成19年度に完了し、第2工区450mが平成24年度に完了しました。

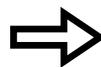
全線が開通したことにより、交通の流れが円滑になり、交通渋滞を減らすことができました。

【全体の概要】

延長	L=1,190m
事業区間	出雲市大社町杵築西
幅員	車道 W=9.0m, 歩道 W=3.5m×2
事業費	2,700百万円



整備前



整備後

にしづかさ
西岩坂農道が全線開通しました!!
～農産物輸送の合理化・地域の発展に期待～

西岩坂農道は、主要地方道大東東出雲線と国道432号を結ぶ、松江市八雲町を東西に横断する延長約2.6km・全幅7.0mの2車線の農道です。

本地区は農業の振興に取り組んでいる地域であり、近年は水稻に加えて、梅の栽培や果実を使った商品開発・販売を行っています。

本農道の開通により、円滑な交通が確保され、農業施設の利用圏拡大や集落間の交流がスムーズになるなど、地域の活性化に大きく寄与するものと期待されます。

西岩坂農道は、平成8年度より整備に着手し、整備完了区間から順次供用開始しており、このたび全線開通となったことを祝い、地元「西岩坂農道整備促進協議会」の主催により開通式が行われました。



『しまねの農業農村整備
すごろく』キャラクター
ドジョウのどうじよ君

西岩坂農道位置図



- <事業概要>**
- 事業名：一般農道整備事業、ふるさと農道整備事業
 - 地区名：西岩坂地区、西岩坂2期地区
 - 工期：平成8年度～平成25年度
 - 延長：2,625m
 - 幅員：全幅員7.0m、車道幅員5.5m
 - 事業費：約28億8千万円
 - 主要構造物：橋梁2橋、テールアルメ

整備状況



西岩坂農道開通式の様子

平成25年9月5日(木)、西岩坂農道開通式が開催されました。
当日は、天候に恵まれ、前日までの雨がうそのように晴れ渡る秋晴れとなりました。

- (1) 日 時 平成25年9月5日(木) 11:00～
- (2) 場 所 松江市八雲町東岩坂
- (3) 主 催 西岩坂農道整備促進協議会、松江市
- (4) 出席者 島根県議会 五百川議員、松江県土整備事務所長、地元関係者など約60名

テープカット



開通式では、五百川県議会議長、松江県土整備事務所長や地元代表者のテープカットにより、地元の方をはじめ関係者約60名が通り初めを行い、開通を祝いました。

祝賀会



地元関係者で組織される西岩坂農道整備促進協議会の主催で、祝賀会が行われました。
今後、西岩坂農道が農業振興および地域間交流に大きく貢献することを期待します。



県内3空港で

空の日イベントが開催されました！

毎年9月20日が「空の日」であることにちなみ、より多くの皆様に空港に親しんでいただくため、県内3空港で「空の日イベント」が開催されました。

空の日とは…

明治43年に陸軍が代々木練兵場(現在の代々木公園)で我が国初の動力飛行に成功して30周年にあたる昭和15年9月28日を第1回「航空日」と決定しました。その後、平成4年に「空の日」と名を変え、現在では9月20日に定着しています。

9月20日から30日は「空の旬間」とされ、その期間には全国各地の空港等で航空に関する様々な催し物が開催されるようになりました。

もっと感動、空はフロンティア



9月20日は空の日

「空の日」シンボルキャラクター

「くにまる」くん

出雲縁結び空港

防災ヘリコプター救助訓練



エプロンでは空港で働く車やヘリコプターの展示、消防車の放水デモや防災ヘリの救助訓練等が催されました。また、ターミナルビルでは紙ヒコーキ教室や現役整備士による航空教室も行われ、たくさんの方で賑わいました(H25.9.22開催)。



バスによる滑走路走行



出雲縁結び空港

紙ヒコーキ教室

萩・石見空港

はしご車の搭乗体験



↑ 海上自衛隊救難飛行艇 US-1A

災害支援に活躍する航空機(県警ヘリ・県防災ヘリ・自衛隊救難飛行艇)や空港で働く車の展示、また合同開催の「益田広域消防フェスティバル」でははしご車の搭乗体験等が催され、家族連れら約 5 千人の人で賑わいました(H25.9.23 開催)。

隠岐空港

C-1 機の展示



自衛隊 C-1 機や県警ヘリの展示、空港用化学消防車への乗車・放水体験、また滑走路内のバス見学やウォーキングの体験等、普段立ち入ることが出来ない場所へ入れる貴重な体験が出来るイベントが開催されました(H25.9.22 開催)。

県警ヘリの展示



消防車への乗車体験

